

令和 4 年度宮城県多文化共生アンケート調査結果について（補足）

令和 4 年度第 2 回（令和 5 年 2 月 6 日開催）宮城県多文化共生社会推進審議会にて、宮城県多文化共生アンケート結果について、速報版の報告をさせていただきました。

その際、御質問を頂きました件につきまして、下記のとおり回答いたします。

（ ）内は議事録の対応ページ

発言者	発言要旨	発言に対応したグラフ等																																																																																										
竹内委員 (9)	「外国人用アンケート（(33) 仕事上の困りごと・不満（複数回答）」の表とグラフの数値が異なる。	グラフを修正し、議事録の送付とあわせて修正資料を送付させていただきました。																																																																																										
小松崎委員 (6)	外国人用のアンケートの「1 基本属性」の（9）「日本国籍の取得予定」について、日本国籍を取得しないと回答した方は 40% という結果が意外だと思った。	報告書（全体版）13 ページ 「在留資格別日本国籍の取得予定」 ・在留資格と国籍取得希望に明らかな傾向は認められない。																																																																																										
市瀬会長 (7)	在留資格別にクロス集計すると、短期で帰国する方と長期でいらっしゃる方の国籍取得希望が見えてくるのではないかと。	<table border="1"> <caption>国籍取得希望の割合</caption> <thead> <tr> <th>在留資格</th> <th>n</th> <th>取得する (%)</th> <th>取得しない (%)</th> <th>わからない (%)</th> <th>無回答 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>430</td> <td>18.8</td> <td>41.6</td> <td>38.6</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>永住者</td> <td>145</td> <td>17.9</td> <td>35.2</td> <td>45.5</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>留学</td> <td>72</td> <td>19.4</td> <td>44.4</td> <td>36.1</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>技能実習</td> <td>59</td> <td>16.9</td> <td>44.1</td> <td>37.3</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>特別永住者</td> <td>27</td> <td>18.5</td> <td>44.4</td> <td>37.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>技術・人文知識・国際業務</td> <td>25</td> <td>20.0</td> <td>48.0</td> <td>32.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>家族滞在</td> <td>19</td> <td>26.3</td> <td>57.9</td> <td>15.8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>日本人の配偶者等</td> <td>29</td> <td>10.3</td> <td>41.4</td> <td>48.3</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>特定活動</td> <td>4</td> <td>25.0</td> <td>0.0</td> <td>75.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>特定技能</td> <td>20</td> <td>10.0</td> <td>50.0</td> <td>40.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>定住者</td> <td>8</td> <td>50.0</td> <td>37.5</td> <td>12.5</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> <td>35.3</td> <td>52.9</td> <td>11.8</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	在留資格	n	取得する (%)	取得しない (%)	わからない (%)	無回答 (%)	全体	430	18.8	41.6	38.6	0.9	永住者	145	17.9	35.2	45.5	1.4	留学	72	19.4	44.4	36.1	0.0	技能実習	59	16.9	44.1	37.3	1.7	特別永住者	27	18.5	44.4	37.0	0.0	技術・人文知識・国際業務	25	20.0	48.0	32.0	0.0	家族滞在	19	26.3	57.9	15.8	0.0	日本人の配偶者等	29	10.3	41.4	48.3	0.0	特定活動	4	25.0	0.0	75.0	0.0	特定技能	20	10.0	50.0	40.0	0.0	定住者	8	50.0	37.5	12.5	0.0	その他	17	35.3	52.9	11.8	0.0												
在留資格	n	取得する (%)	取得しない (%)	わからない (%)	無回答 (%)																																																																																							
全体	430	18.8	41.6	38.6	0.9																																																																																							
永住者	145	17.9	35.2	45.5	1.4																																																																																							
留学	72	19.4	44.4	36.1	0.0																																																																																							
技能実習	59	16.9	44.1	37.3	1.7																																																																																							
特別永住者	27	18.5	44.4	37.0	0.0																																																																																							
技術・人文知識・国際業務	25	20.0	48.0	32.0	0.0																																																																																							
家族滞在	19	26.3	57.9	15.8	0.0																																																																																							
日本人の配偶者等	29	10.3	41.4	48.3	0.0																																																																																							
特定活動	4	25.0	0.0	75.0	0.0																																																																																							
特定技能	20	10.0	50.0	40.0	0.0																																																																																							
定住者	8	50.0	37.5	12.5	0.0																																																																																							
その他	17	35.3	52.9	11.8	0.0																																																																																							
市瀬会長 (11)	（小松崎委員・藤田委員の発言を受けて） WEB 回答も可能としたが、日本語能力が高い層にだけ響いているのではないかと。	<p>詳細は別紙 1 を参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB 回答はシステム設計上、日本語のみ対応。 ・前回調査時との比較では、母国語で回答する人の割合よりも日本語で回答する人の割合が増加している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H29 調査（回答方法）</th> <th colspan="2">R4 調査（回答方法）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語票</td> <td>45.2%</td> <td>WEB 回答</td> <td>15.3%</td> </tr> <tr> <td>母国語票</td> <td>54.8%</td> <td>日本語票</td> <td>42.8%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>母国語票</td> <td>41.9%</td> </tr> </tbody> </table>	H29 調査（回答方法）		R4 調査（回答方法）		日本語票	45.2%	WEB 回答	15.3%	母国語票	54.8%	日本語票	42.8%			母国語票	41.9%																																																																										
H29 調査（回答方法）		R4 調査（回答方法）																																																																																										
日本語票	45.2%	WEB 回答	15.3%																																																																																									
母国語票	54.8%	日本語票	42.8%																																																																																									
		母国語票	41.9%																																																																																									
市瀬会長 (12)	分析できるのであれば、日本語ができる・できないで、分けることができるのか。WEB 回答したもの、ふりがなつきの調査票で答えたもの等で、日本語力で回答を分別するようなことは可能なのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・紙と WEB の回答方法による日本語能力の大きな違いは認められない。 ・母国語票で回答した方で、日本語を「あまり読めない」「ほとんど読めない」の割合がやや高い。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全体</th> <th colspan="2">紙</th> <th colspan="2">WEB</th> </tr> <tr> <th>人数 (人)</th> <th>割合 (%)</th> <th>人数 (人)</th> <th>割合 (%)</th> <th>人数 (人)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不自由なく読める</td> <td>267</td> <td>62.1</td> <td>222</td> <td>61.0</td> <td>45</td> <td>68.2</td> </tr> <tr> <td>だいたい読める</td> <td>100</td> <td>23.3</td> <td>84</td> <td>23.1</td> <td>16</td> <td>24.2</td> </tr> <tr> <td>あまり読めない</td> <td>20</td> <td>4.7</td> <td>17</td> <td>4.7</td> <td>3</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>ほとんど読めない</td> <td>15</td> <td>3.5</td> <td>13</td> <td>3.6</td> <td>2</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>28</td> <td>6.5</td> <td>28</td> <td>7.7</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>430</td> <td>100.0</td> <td>364</td> <td>100.0</td> <td>66</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全体</th> <th colspan="2">やさしい日本語票</th> <th colspan="2">母国語票</th> <th colspan="2">WEB</th> </tr> <tr> <th>人数 (人)</th> <th>割合 (%)</th> <th>人数 (人)</th> <th>割合 (%)</th> <th>人数 (人)</th> <th>割合 (%)</th> <th>人数 (人)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不自由なく読める</td> <td>267</td> <td>62.1</td> <td>116</td> <td>63.0</td> <td>106</td> <td>58.9</td> <td>45</td> <td>68.2</td> </tr> <tr> <td>だいたい読める</td> <td>100</td> <td>23.3</td> <td>41</td> <td>22.3</td> <td>43</td> <td>23.9</td> <td>16</td> <td>24.2</td> </tr> </tbody> </table>		全体		紙		WEB		人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	不自由なく読める	267	62.1	222	61.0	45	68.2	だいたい読める	100	23.3	84	23.1	16	24.2	あまり読めない	20	4.7	17	4.7	3	4.5	ほとんど読めない	15	3.5	13	3.6	2	3.0	無回答	28	6.5	28	7.7	0	0.0	合計	430	100.0	364	100.0	66	100.0		全体		やさしい日本語票		母国語票		WEB		人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	不自由なく読める	267	62.1	116	63.0	106	58.9	45	68.2	だいたい読める	100	23.3	41	22.3	43	23.9	16	24.2
	全体			紙		WEB																																																																																						
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)																																																																																						
不自由なく読める	267	62.1	222	61.0	45	68.2																																																																																						
だいたい読める	100	23.3	84	23.1	16	24.2																																																																																						
あまり読めない	20	4.7	17	4.7	3	4.5																																																																																						
ほとんど読めない	15	3.5	13	3.6	2	3.0																																																																																						
無回答	28	6.5	28	7.7	0	0.0																																																																																						
合計	430	100.0	364	100.0	66	100.0																																																																																						
	全体		やさしい日本語票		母国語票		WEB																																																																																					
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)																																																																																				
不自由なく読める	267	62.1	116	63.0	106	58.9	45	68.2																																																																																				
だいたい読める	100	23.3	41	22.3	43	23.9	16	24.2																																																																																				

あまり読めない	20	4.7	5	2.7	12	6.7	3	4.5
ほとんど読めない	15	3.5	2	1.1	11	6.1	2	3.0
無回答	28	6.5	20	10.9	8	4.4	0	0.0
合計	430	100.0	184	100.0	180	100.0	66	100.0

・日本語能力に関する前回調査時との比較では、日本語能力が高いと回答した方の割合が増加している傾向は特にな
い。

H29 調査（言語・日本語能力）			R4 調査（言語・日本語能力）		
(12) 日本語能力			(12) 日本語能力		
①話す能力			①話す能力		
項目	人数 (人)	割合 (%)	項目	人数 (人)	割合 (%)
不自由なく話せる	152	38.4	不自由なく話せる	143	33.3
だいたい話せる	144	36.4	だいたい話せる	180	41.9
あまり話せない	65	16.4	あまり話せない	74	17.2
ほとんど話せない	28	7.1	ほとんど話せない	29	6.7
無回答	7	1.8	無回答	4	0.9
計	396	100	計	430	100.0
②聞く能力			②聞く能力		
項目	人数 (人)	割合 (%)	項目	人数 (人)	割合 (%)
不自由なく聞き取れる	151	38.1	不自由なく聞き取れる	141	32.8
だいたい聞き取れる	163	41.2	だいたい聞き取れる	201	46.7
あまり聞き取れない	52	13.1	あまり聞き取れない	60	14.0
ほとんど聞き取れない	22	5.6	ほとんど聞き取れない	24	5.6
無回答	8	2.0	無回答	4	0.9
計	396	100	計	430	100.0
③-1 読む能力（漢字）			③-1 読む能力（漢字）		
項目	人数 (人)	割合 (%)	項目	人数 (人)	割合 (%)
不自由なく読める	124	31.3	不自由なく読める	120	27.9
だいたい読める	116	29.3	だいたい読める	119	27.7
あまり読めない	89	22.5	あまり読めない	105	24.4
ほとんど読めない	60	15.2	ほとんど読めない	78	18.1
無回答	7	1.8	無回答	8	1.9
計	396	100	計	430	100.0
③-2 読む能力（ひらがな）			③-2 読む能力（ひらがな）		
項目	人数 (人)	割合 (%)	項目	人数 (人)	割合 (%)
不自由なく読める	250	63.1	不自由なく読める	267	62.1
だいたい読める	86	21.7	だいたい読める	100	23.3
あまり読めない	23	5.8	あまり読めない	20	4.7
ほとんど読めない	20	5.1	ほとんど読めない	15	3.5
無回答	17	4.3	無回答	28	6.5
計	396	100	計	430	100.0
③-3 読む能力（カタカナ）			③-3 読む能力（カタカナ）		
項目	人数 (人)	割合 (%)	項目	人数 (人)	割合 (%)
不自由なく読める	222	56.1	不自由なく読める	247	57.4
だいたい読める	108	27.3	だいたい読める	113	26.3
あまり読めない	26	6.6	あまり読めない	27	6.3
ほとんど読めない	24	6.1	ほとんど読めない	17	4.0
無回答	16	4.0	無回答	26	6.0
計	396	100	計	430	100.0
④-1 書く能力（漢字）			④-1 書く能力（漢字）		
項目	人数 (人)	割合 (%)	項目	人数 (人)	割合 (%)
不自由なく書ける	111	28.0	不自由なく書ける	103	24.0
だいたい書ける	102	25.8	だいたい書ける	103	24.0
あまり書けない	99	25.0	あまり書けない	115	26.7
ほとんど書けない	76	19.2	ほとんど書けない	103	24.0
無回答	8	2.0	無回答	6	1.4
計	396	100	計	430	100.0
④-2 書く能力（ひらがな）			④-2 書く能力（ひらがな）		
項目	人数 (人)	割合 (%)	項目	人数 (人)	割合 (%)

		不自由なく書ける	227	57.3		不自由なく書ける	258	60.0
		だいたい書ける	96	24.2		だいたい書ける	96	22.3
		あまり書けない	32	8.1		あまり書けない	36	8.4
		ほとんど書けない	27	6.8		ほとんど書けない	19	4.4
		無回答	14	3.5		無回答	21	4.9
		計	396	100		計	430	100.0

佐藤委員
(11)

「日本語能力」の設題で約8割が不自由なく話せる、大体話せるという回答にもかかわらず、「いやな経験、つらい思いの具体的内容」で仕事と回答した人が、前回の調査と大きく差がないという話のだが、仕事でのいやな経験は話す能力があっても解消できないという認識でよいのか。

詳細は別紙2を参照。

- ・日本語能力といやな経験との関係性は認められない。

		よくある	時々ある	ほとんどない	まったくない	過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない	無回答	調査数
全 体	人数 (人)	31	128	118	70	77	6	430
	割合 (%)	7.2	29.8	27.4	16.3	17.9	1.4	100.0
不自由なく話せる	人数 (人)	7	39	40	15	41	1	143
	割合 (%)	4.9	27.3	28.0	10.5	28.7	0.7	100.0
だいたい話せる	人数 (人)	16	63	47	28	25	1	180
	割合 (%)	8.9	35.0	26.1	15.6	13.9	0.6	100.0
あまり話せない	人数 (人)	5	20	22	16	9	2	74
	割合 (%)	6.8	27.0	29.7	21.6	12.2	2.7	100.0
ほとんど話せない	人数 (人)	3	5	8	11	2	0	29
	割合 (%)	10.3	17.2	27.6	37.9	6.9	0.0	100.0

- ・いやな経験、つらい思いの具体的内容」で仕事と回答した人が、前回の調査と大きく差がない

H29 調査 (差別経験)			R4 調査 (差別経験)		
(39) 差別経験			(39) 差別経験		
項目	人数 (人)	割合 (%)	項目	人数 (人)	割合 (%)
よくある	28	7.1	よくある	31	7.2
時々ある	124	31.3	時々ある	128	29.8
ほとんどない	94	23.7	ほとんどない	118	27.4
まったくない	63	15.9	まったくない	70	16.3
過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない	78	19.7	過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない	77	17.9
無回答	9	2.3	無回答	6	1.4
計	396	100	計	430	100.0

(40) いやな経験、つらい思いの具体的内容 (複数回答)		(40) いやな経験、つらい思いの具体的内容 (複数回答)	
項目	人数 (人)	項目	人数 (人)
工作中	97	工作中	110
住まいを探すとき	65	住まいを探すとき	59
仕事を探すとき	63	仕事を探すとき	53
公的機関などでの手続きのとき	63	公的機関などでの手続きのとき	53
近所との付き合いの中で	46	近所との付き合いの中で	44
日本人の友人との交際のとき	53	日本人の友人との交際のとき	42
買い物や食事をしているとき	46	買い物や食事をしているとき	39
移動しているとき(歩いているときや公共交通機関を利用しているときなど)	27	移動しているとき(歩いているときや公共交通機関を利用しているときなど)	37
子どもが学校などで	19	子どもが学校などで	24
テレビ・インターネットなどのメディアの情報で	37	テレビ・インターネットなどのメディアの情報で	23
その他	22	その他	14
無回答	8	無回答	6

横山委員 (14)	(24)で日本語と母国語が同じくらい、または主に母国語と回答した保護者の方が困っていることを知りたい。その33%の人たちが、どのようなことで一番困っているのかが気になった。もしよければ、その部分の調査結果も教えていただきたい。	詳細は別紙3にまとめております。
石川委員 (15)	アンケートを答えられた方の属性とその回答内容との関係性というのは全体的に気になりますので、それはおそらくこれからクロス集計の中で出てくるのかなと思いますけれども、そういった点が少し気になるところです。	調査結果報告書(全体版)において、単純集計に加え、外国人アンケートについては、すべての設問で「在留資格」とのクロス集計を掲載しております。

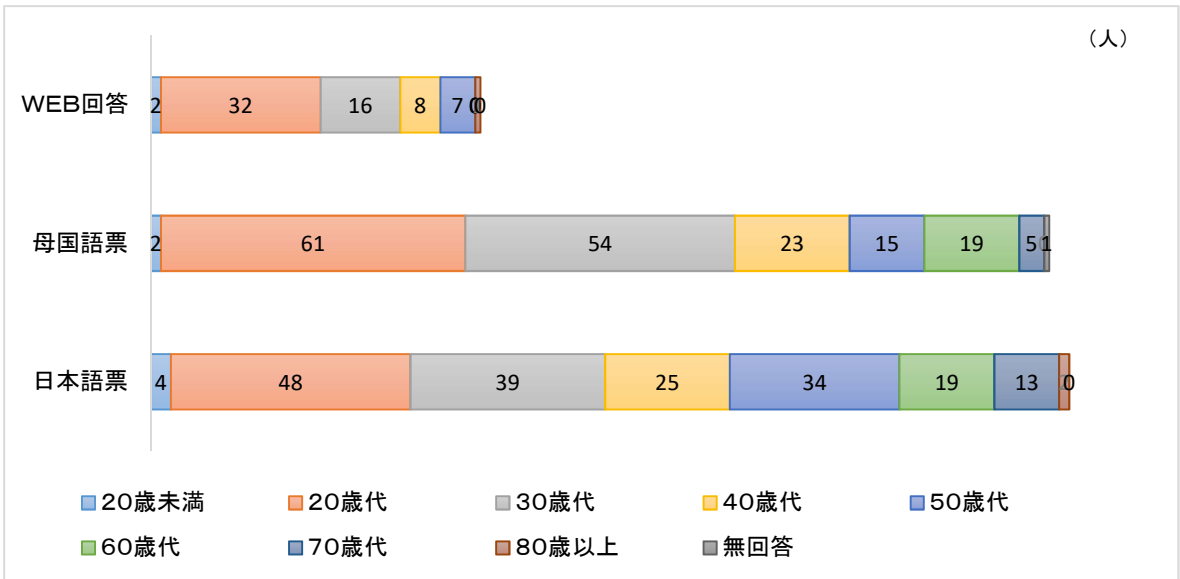
回答方法と日本語能力との関係について

1 回答方法

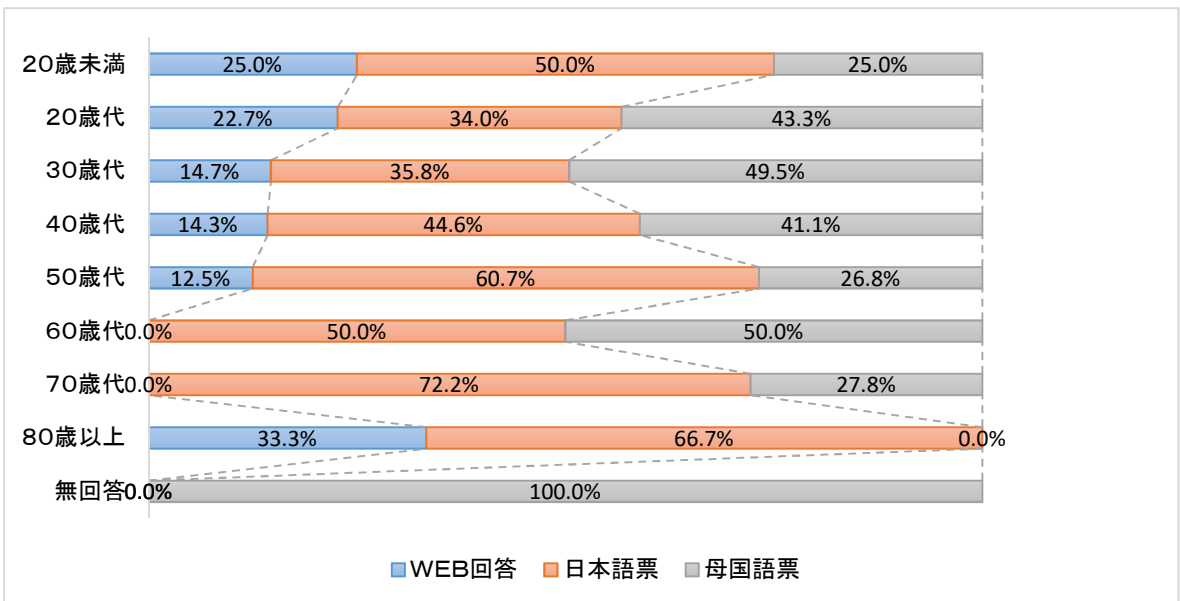


2 回答方法の傾向（年代別）

(1) 回答方法別の内訳

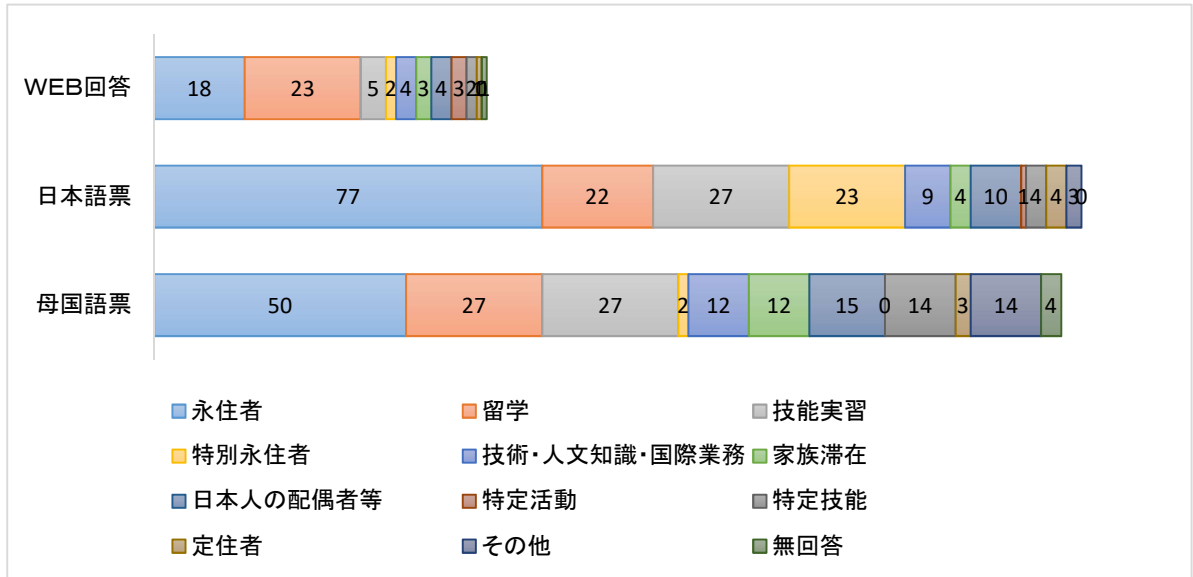


(2) 年代別の回答方法割合

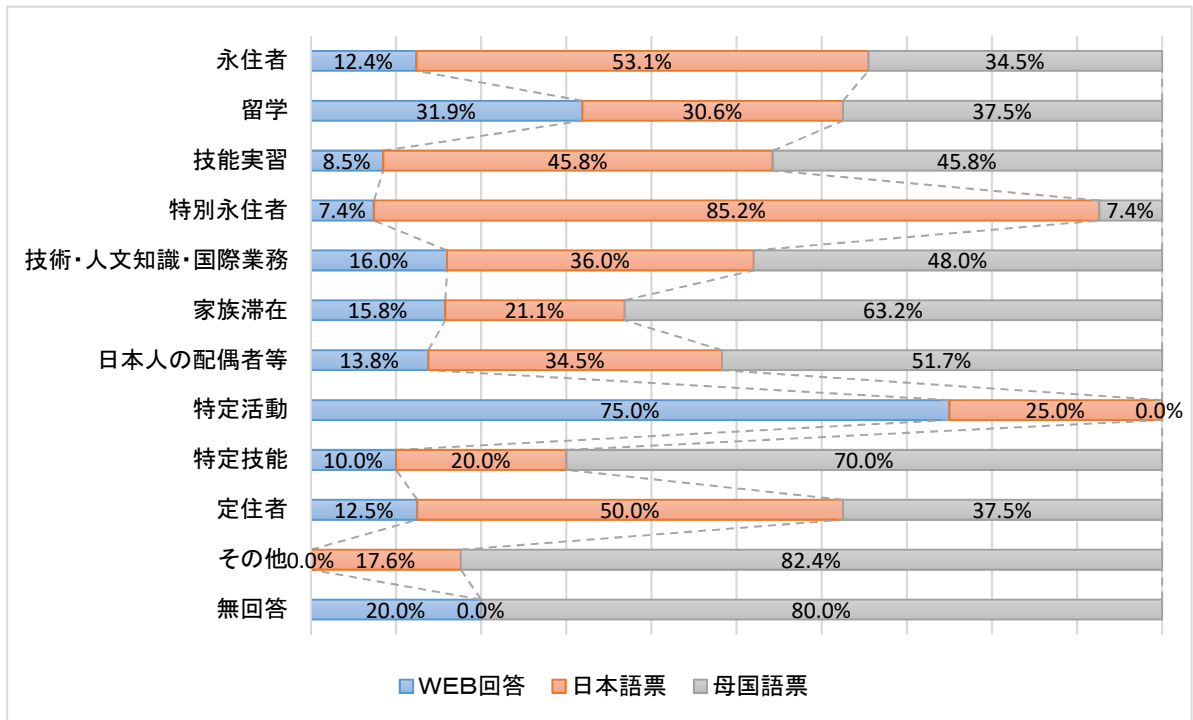


3 回答方法の傾向（在留資格別）

(1) 回答方法別の内訳

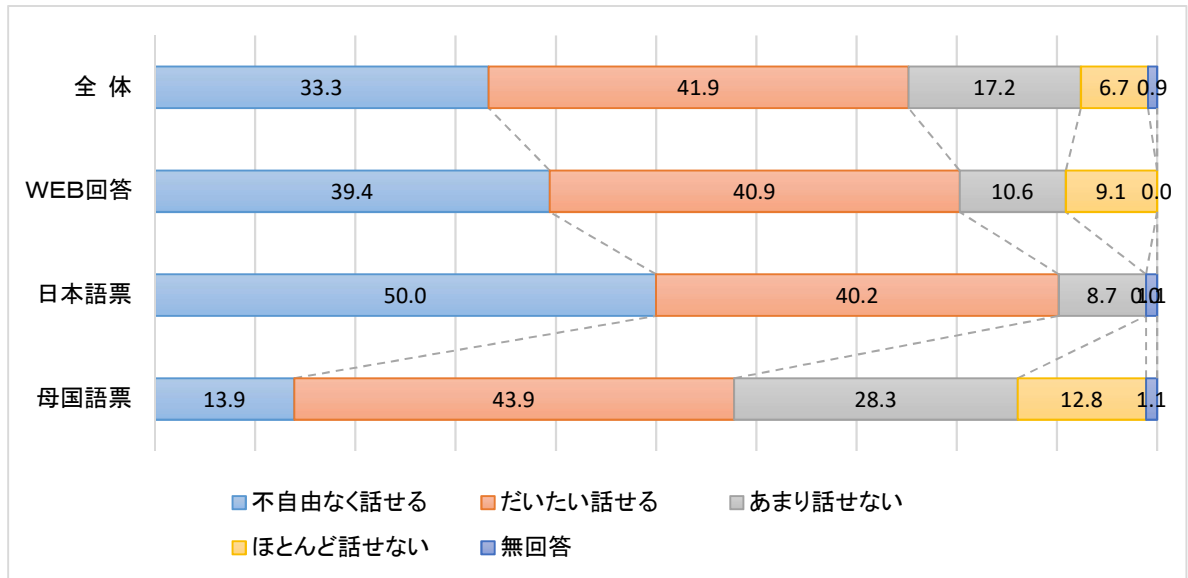


(2) 年代別の回答方法割合

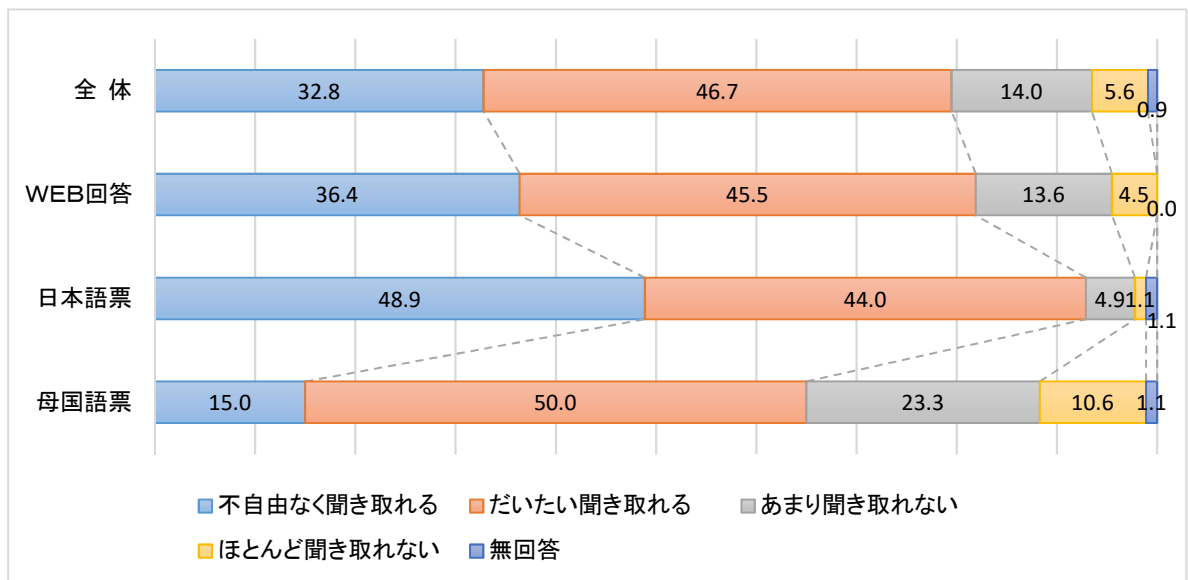


4 回答方法の傾向（日本語能力）

（1）話す

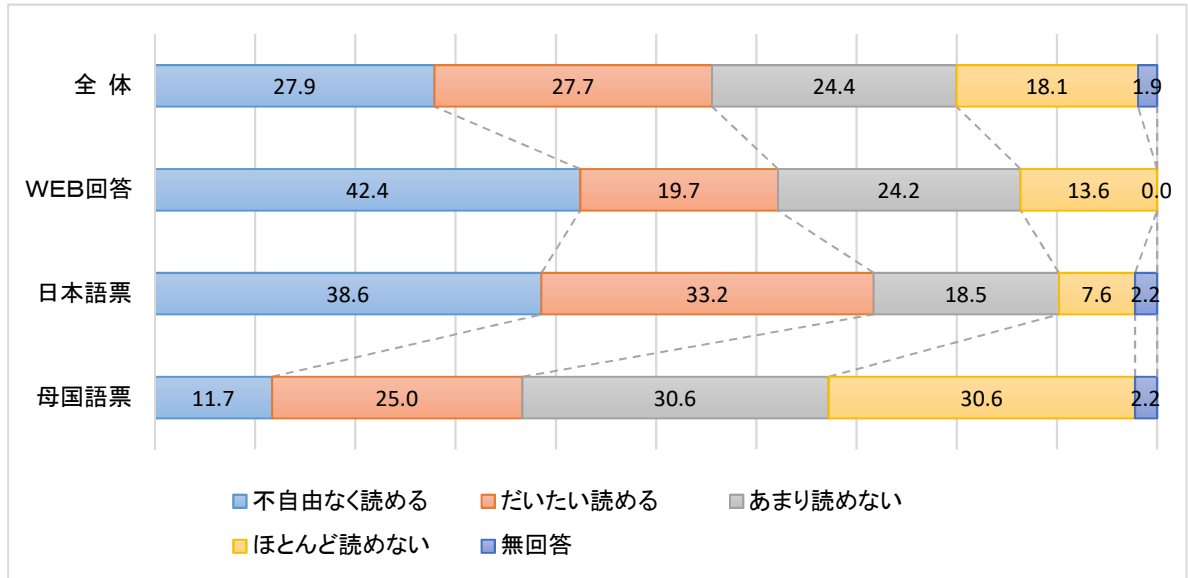


（2）聞く

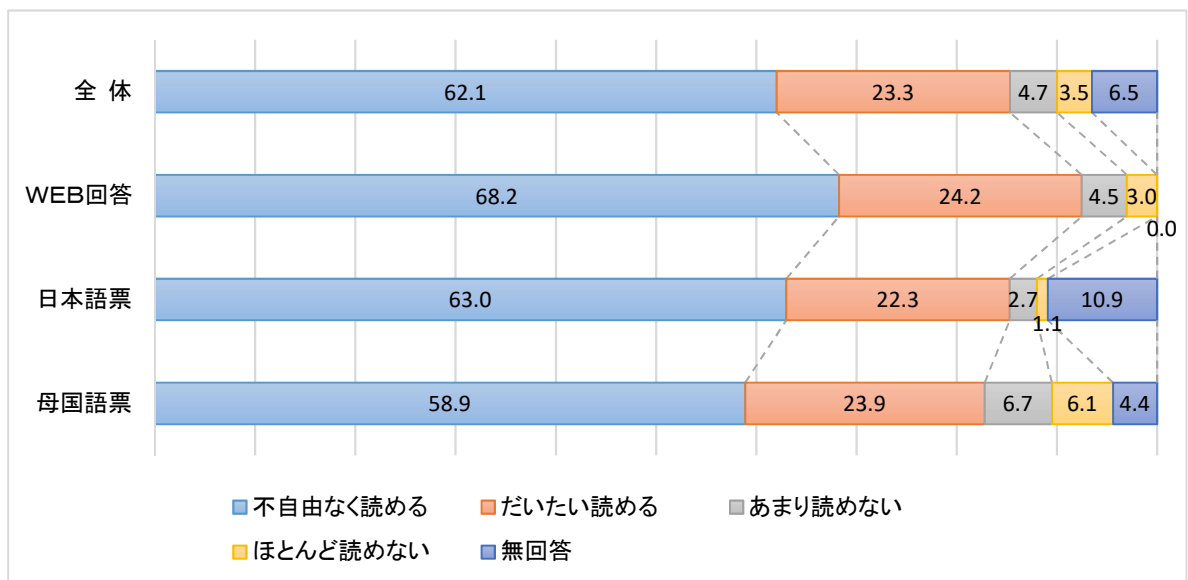


(3) 読む

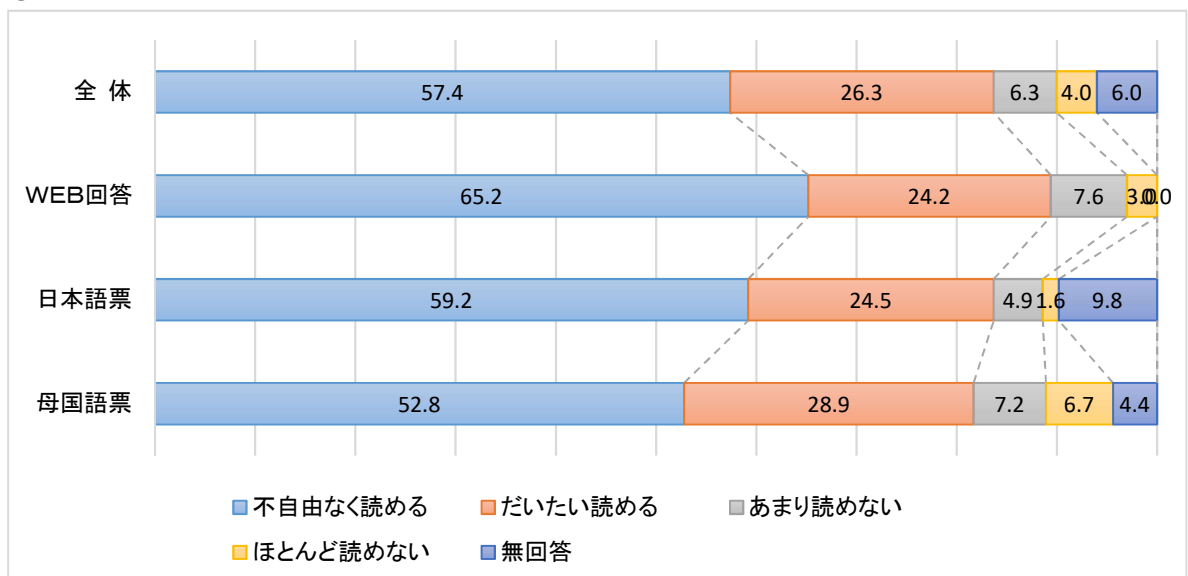
①漢字



②ひらがな

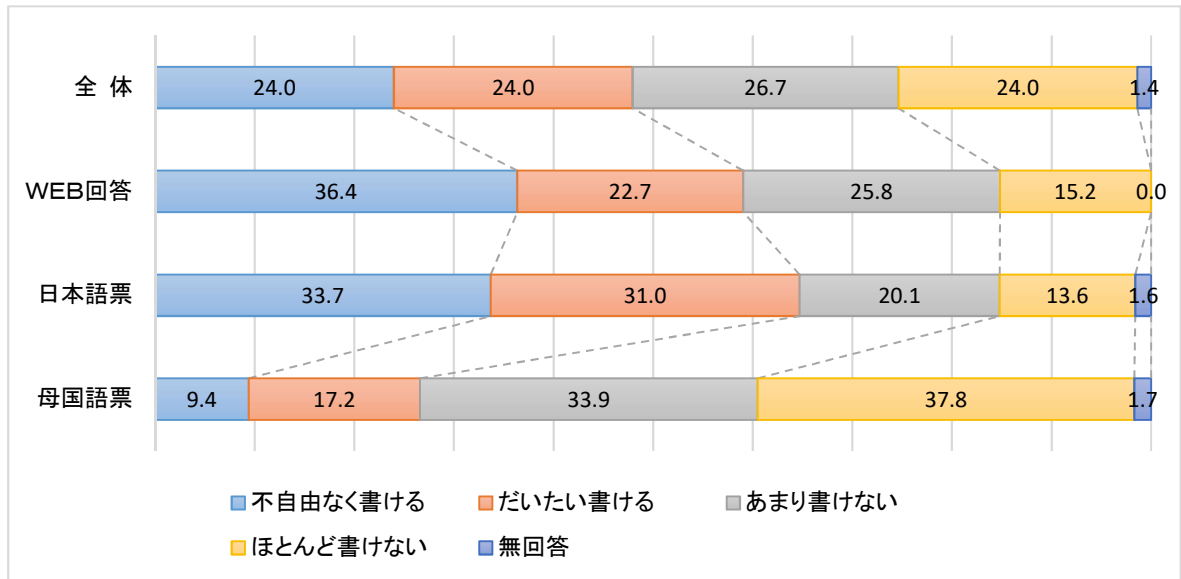


③カタカナ

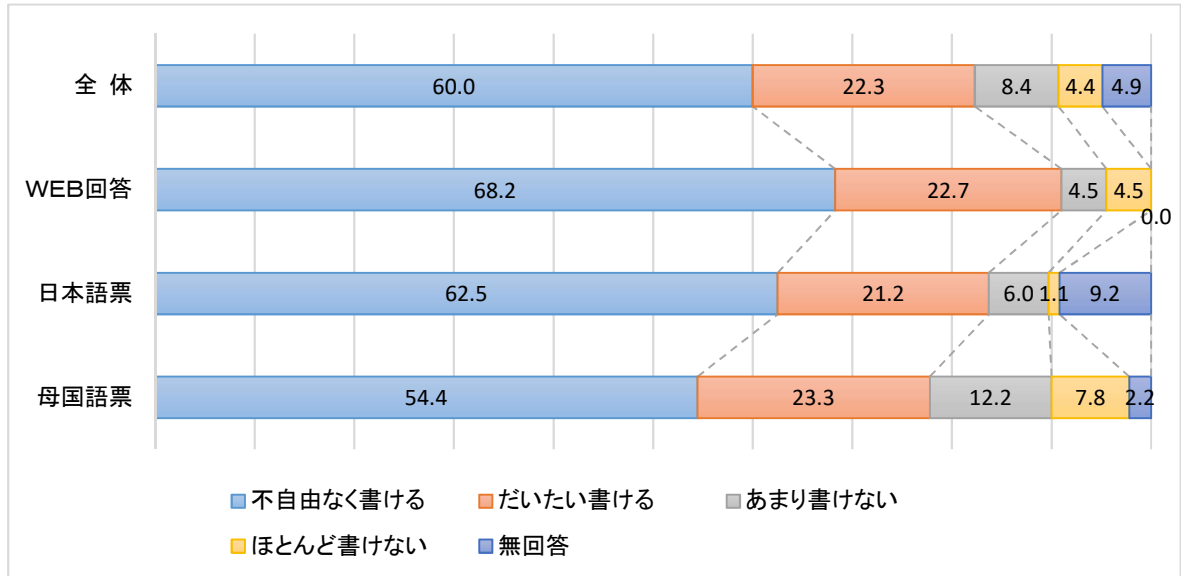


(4) 書く

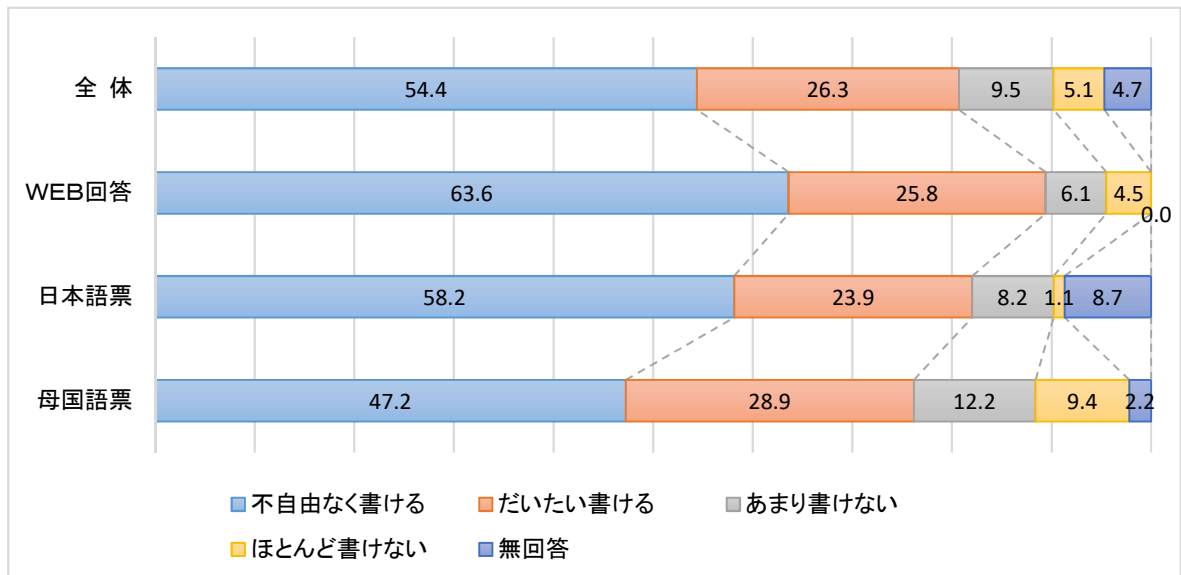
①漢字



②ひらがな

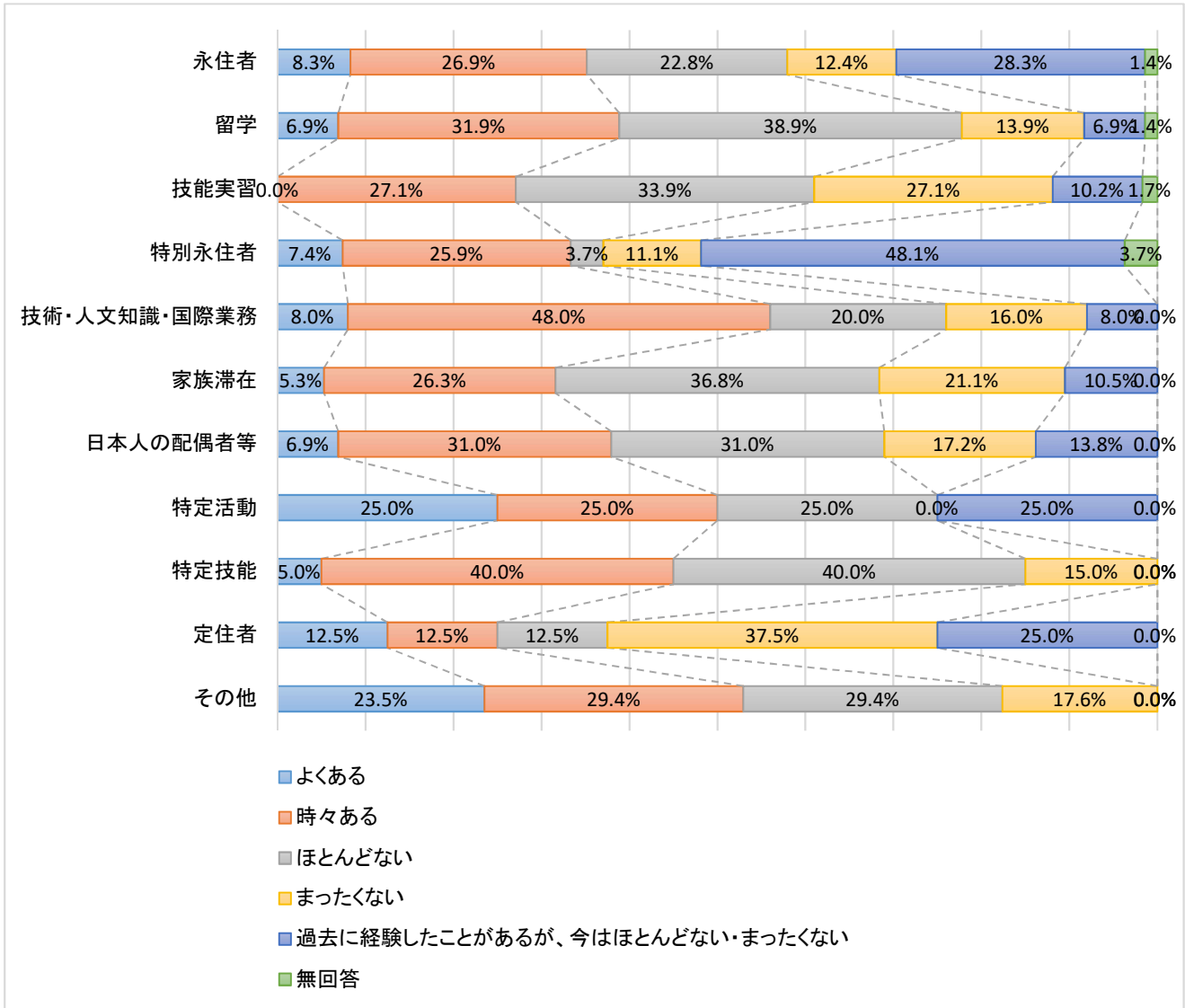


③カタカナ

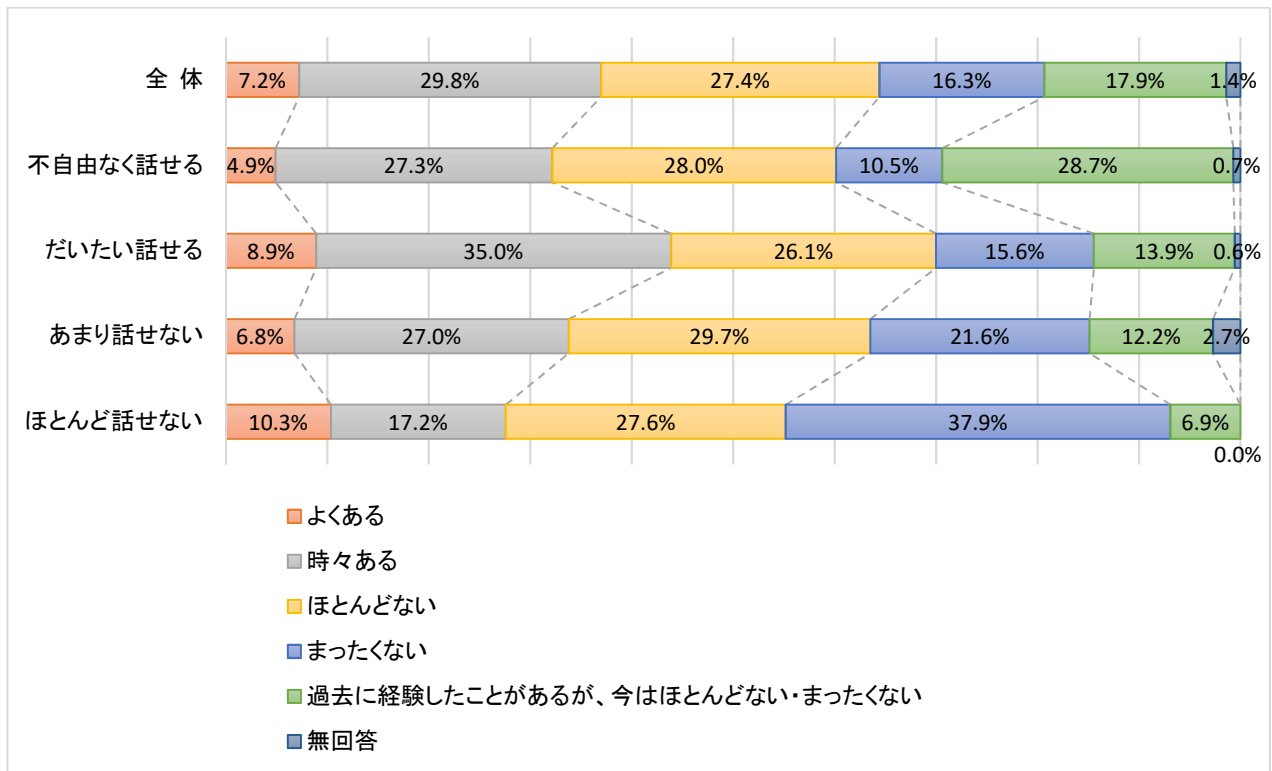


差別体験の傾向と日本語能力との関係について

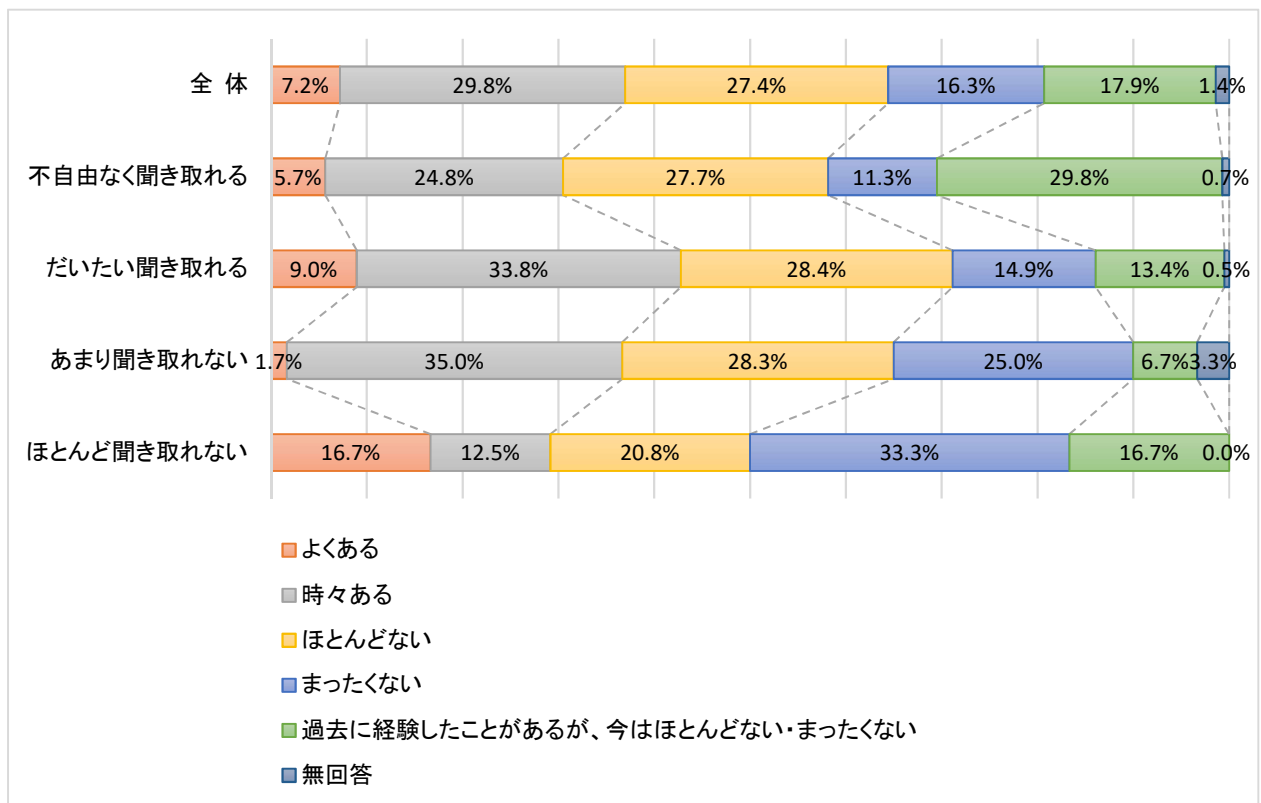
差別体験の傾向（在留資格別）



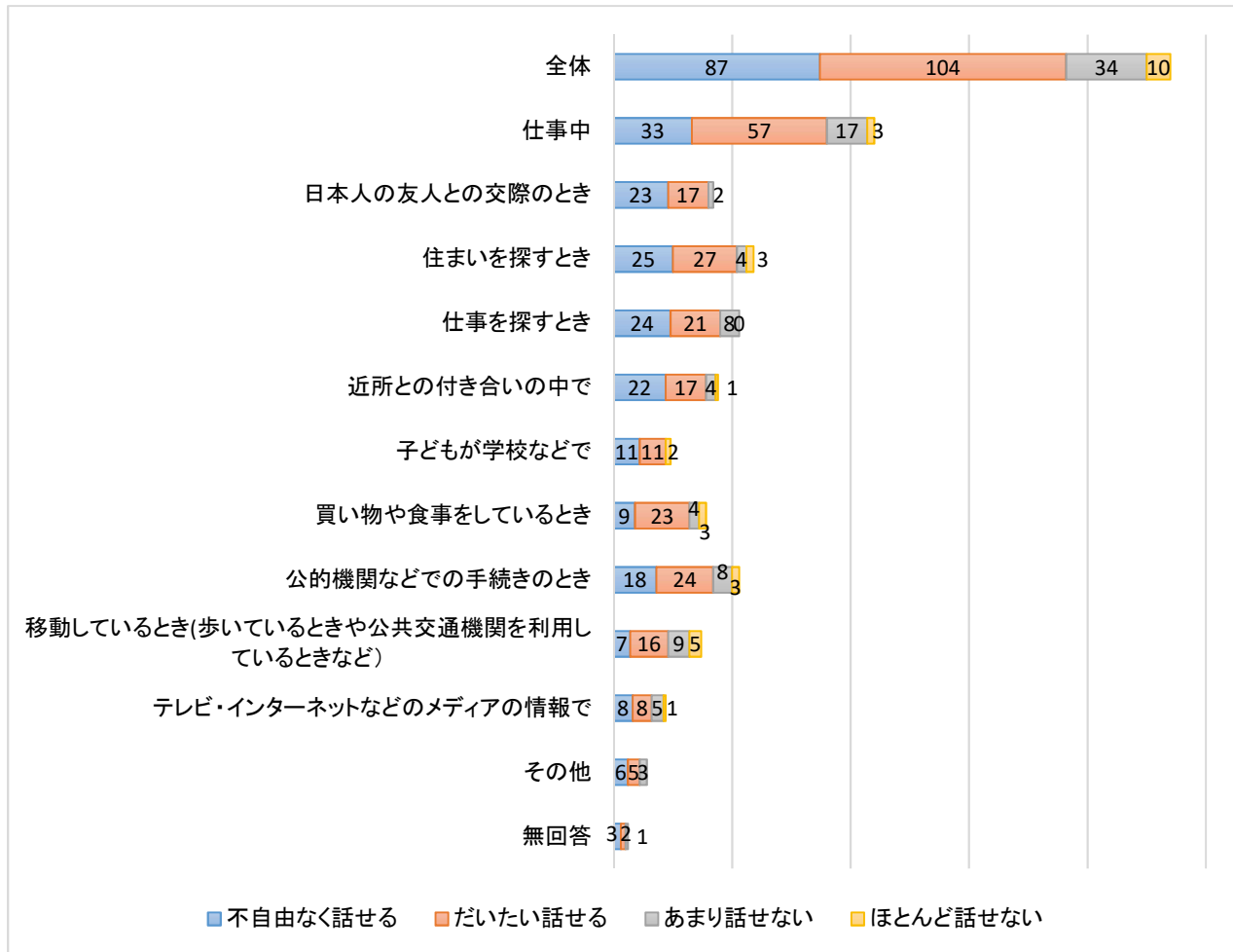
差別体験の傾向（日本語能力（話す）別）



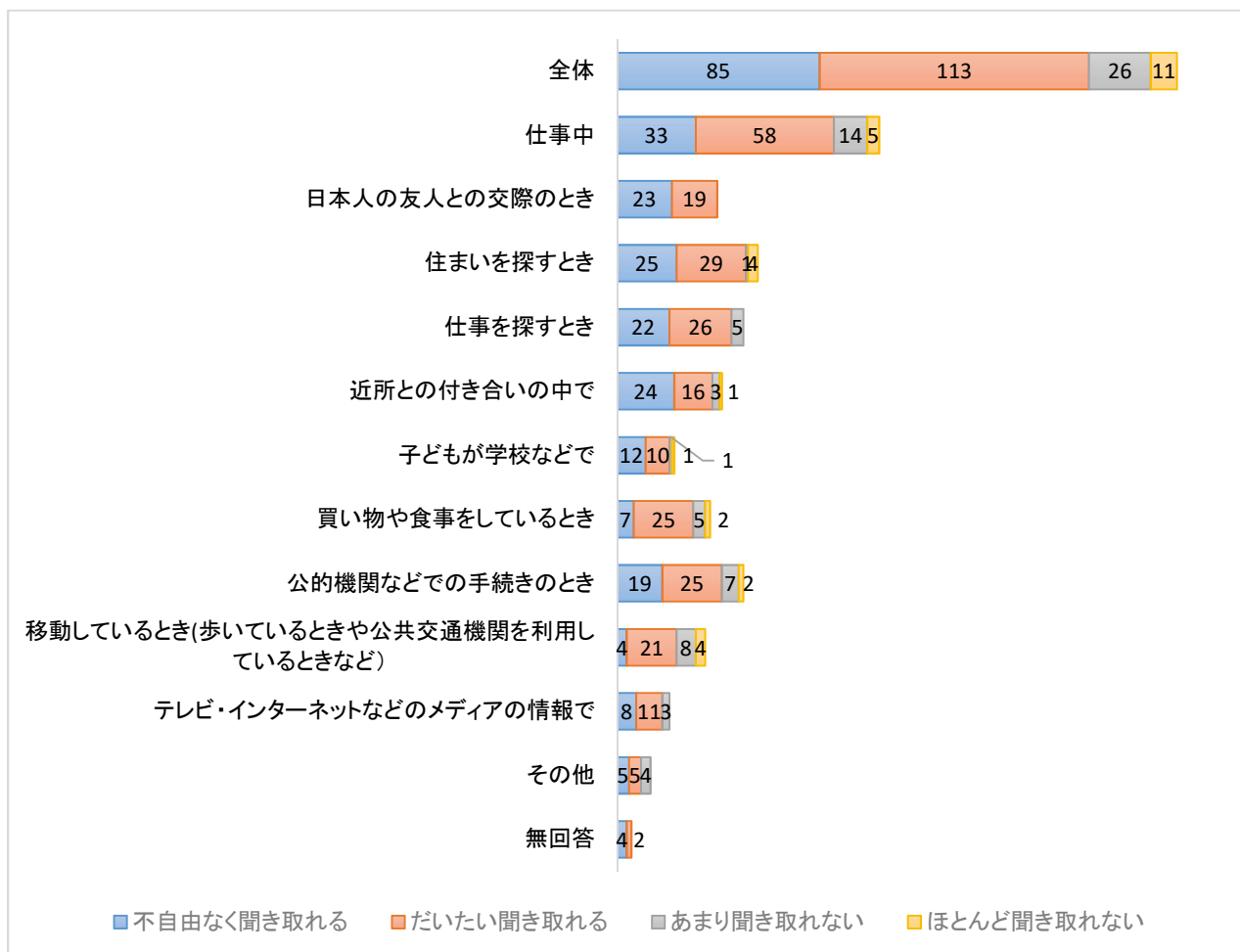
差別体験の傾向（日本語能力（聞く）別）



いやな経験、つらい思いの具体的内容（※複数回答あり）と日本語能力（話す）の傾向

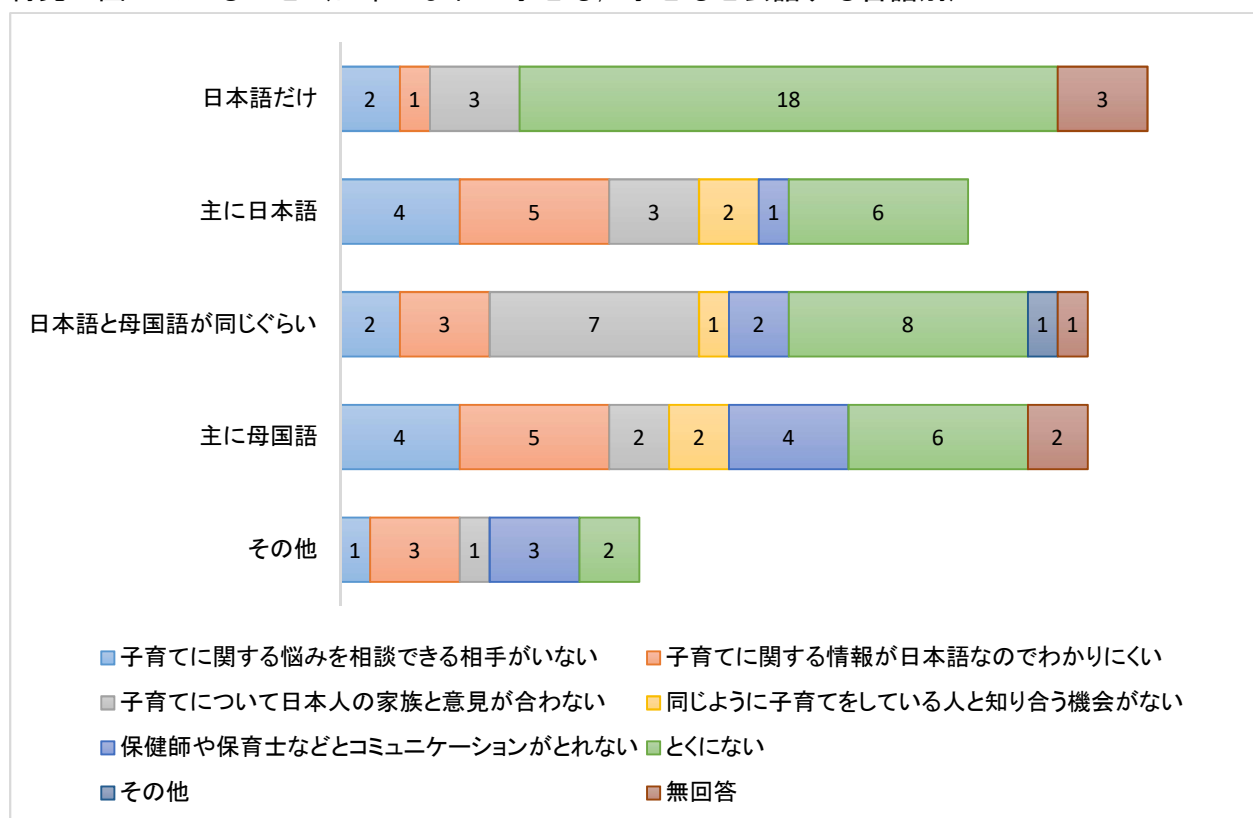


いやな経験、つらい思いの具体的内容（※複数回答あり）と日本語能力（話す）の傾向



家庭で使用する言語別の困っていることについて

育児で困っていること（日本生まれの子ども，子どもと会話する言語別）



育児で困っていること（移住してきた子ども，子どもと会話する言語別）

